

日本共産党杉並区議会議員

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2020. 4. 21

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話 080-5531-8236

区議会控室 3312-2111(内)2319 FAX 3312-2610



新型 コロナ

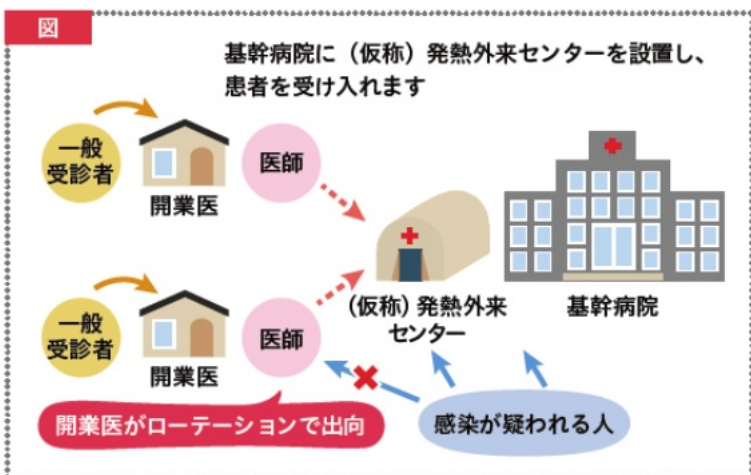
感染症対策に係る補正予算を可決

(仮称)発熱外来センター設置へ

(仮称)発熱外来センター (記者会見資料より)

区内基幹病院に新たに設置する新型コロナウイルス感染症患者専用の外来診療スペース。基幹病院がこれまでの診療で蓄積されたノウハウを生かしながら、医師会の開業医がローテーションで診療を行う。

新型コロナウイルスに感染の疑いがある患者を診察するためには、他の患者との動線・空間の分離や患者ごとの防護服の着脱が必要となり、小規模・少人数で運営している多くの開業医においてそうした対応を取ることは難しい。開業医で診療する機能を(仮称)発熱外来センターとして“集約”することで、基幹病院の診療体制を強化し、かつ、開業医が院内感染のリスクを低減しながら一般の診療に専念する環境を整備できる。



(注) 「(仮称)発熱外来センター」は、「杉並区帰国者・接触者電話相談センター(電話:03-3391-1299)」に電話のうえ、感染が疑われると判断された方を対象に診療します。予約なしでは受診できません。平日の夜間と休日は、「新型コロナ受診相談窓口(帰国者・接触者電話相談センター)電話:03-5320-4592」へご連絡ください。

◇記者会見の資料、動画は、区のホームページでご覧いただけます。

総額24億8千万円を計上 区議会臨時会で審議

20日に開かれた杉並区議会臨時会で、新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算等が審議され、賛成多数で可決されました。

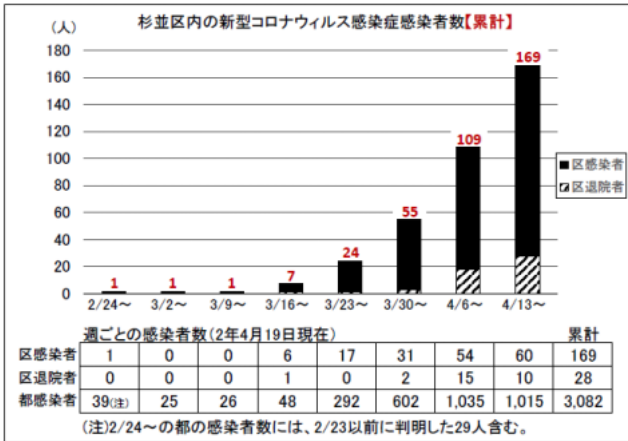
提案された補正予算の内容は、区内4つの基幹病院(河北総合、荻窪、佼成、東京衛生)に対し、「(仮称)発熱外来センター」を設置するための補助や、感染者受け入れで他の診療・入院が減少することによる影響への助成、マスクや消毒液の購入費、商工相談体制の拡充など、総額24億8千万円です。(概要は裏面参照)

日本共産党杉並区議団は「先の区長記者会見では、基幹病院関係者から医療現場の厳しい状況が語られた。医療体制の強化は、本来、国や都の責で進められるべきだが、遅々として進まないなか、杉並区が支援に踏み出したことは重要。区の財政調整基金(何にでも活用できる積立金)は約450億円に上っており、区民から預かった税金を、区民の命と生活を守るために、さらなる活用を求める」と意見を述べ、賛成しました。本会議の採決では、賛成多数で可決されました。引き続き、国会議員団、都議会議員団とも連携し、医療体制の強化、区民・事業者への支援拡充に向けて、力を尽くします。

お困りごと・ご相談は、お気軽に上記連絡先まで、お電話ください

区内の新型コロナウイルス感染者発生状況

区内の感染者数



杉並区はホームページで、区内の感染者数を3月27日より毎日更新し公表しています。19日現在の感染者数は169名です。(グラフ上)

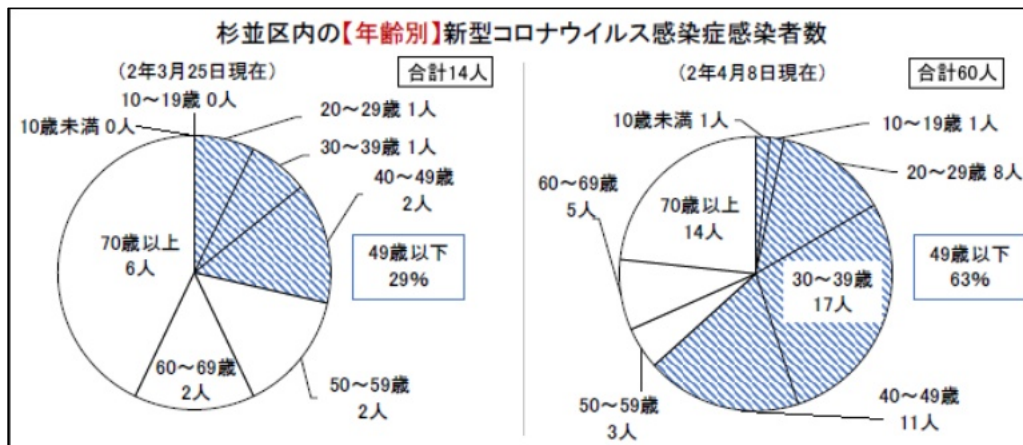
さらに、15日には、年齢別の感染者数も公表しました。(グラフ下)

◇区内の傾向

- ・感染者の年齢別では、感染者数が増加し始めた3月下旬は高齢者が中心だったが、4月に入り、20歳代から40歳代の若年層に増加している。
- ・居住地は区内全域に及ぶ。
- ・感染原因が「不明」の割合が増加

3月下旬に42%だった感染原因の不明者は、4月8日現在54%で、その後も増加。

区内の感染者の傾向



3密(密閉・密集・密接)の重なる場所では感染リスクが高くなります。極力、外出を控え、人との接触を避けて、自宅で過ごしましょう。

お困りごとなどは、お気軽にご連絡ください。

(グラフは、杉並区ホームページより)

新型コロナウイルス対策に係る補正予算の概要

■入院・外来体制強化補助事業 22億2,900万円

感染患者の受け入れによって他の診療・入院の受入縮小を余儀なくされることによる収入の減少、病床増設や「(仮称)発熱外来センター」設置による支出増加の減収分を助成。(4月～6月)

■医師確保支援事業 5,060万円

(仮称)発熱外来センターでの診察を、診療所等から派遣された医師がローテーションで担うため、各診療所等に助成。

■感染症対策に係るマスク等の購入 1億5,678万5千円

窓口対応職員、医療機関、福祉施設へのマスク、手指消毒剤、防護服などの物品購入費。

■帰国者・接触者電話相談センター拡充 2,738万7千円

相談件数増加に対応するため、電話回線を3回線から10回線に拡大。人員を3名程度から13名に増員。

■自宅待機者の健康観察用バイタルナビ購入に係る経費 103万9千円

軽症者で自宅待機者へ貸し出す血中酸素濃度測定器「パルスオキシメーター」100個購入。

■商工相談体制の拡充 664万3千円

融資相談に対応する中小企業診断士の増員、特別融資に対応する職員の増員。電話機の増設。

■発注済み給食食材費の補てん 358万8千円

区立学校の給食食材納入事業者に対し、発注済み給食食材費の補てん。

■区職員への特殊勤務手当の支給 360万円

感染患者に対応する業務を担う区職員への特殊勤務(防疫等業務)手当を支給。